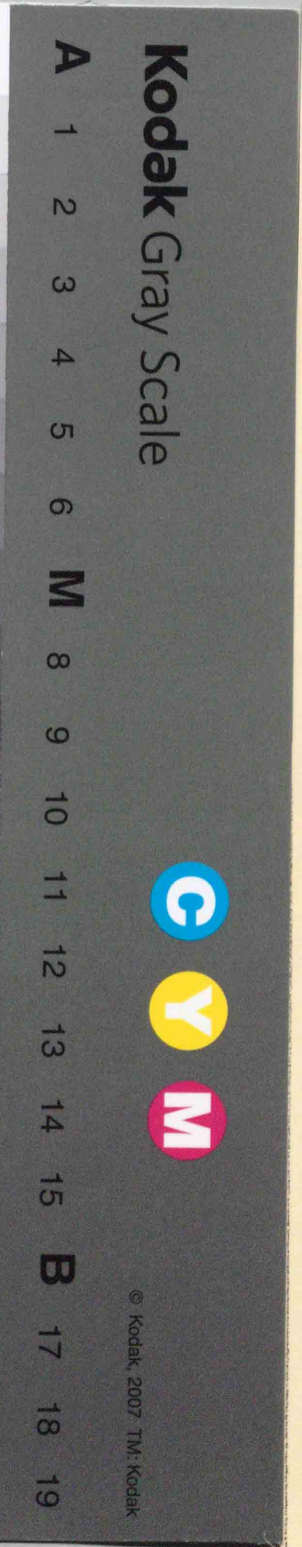
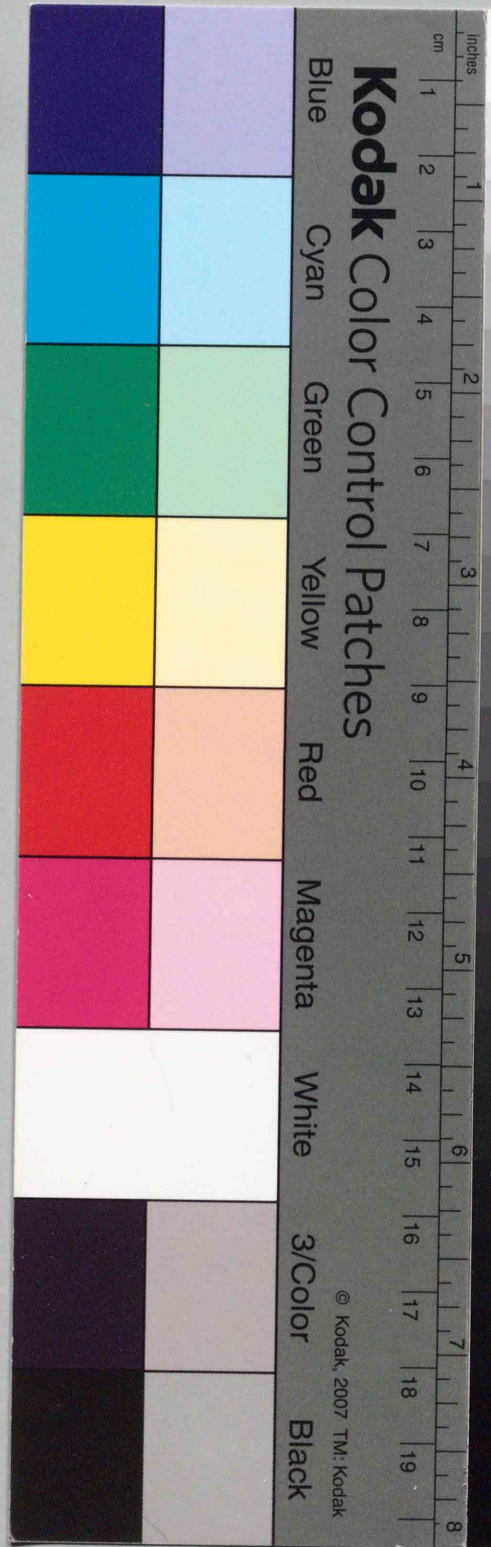


教科書文庫
4
500
33-1942
2000021644

國民學校
職業指導教科書

高等科
第二學年用

財團法人
大日本職業指導協會



41324
教科書文庫

4
500
33-1942
20000 21644

S17
1942



文部省檢定濟

國民學校實業科職業指導兒童用
昭和十七年十二月二十一日

教科書文庫

4

500

33-1942

2000021644

資料室

3759
Da9

國民學校職業指導教科書

高等科 第二學年用

財團法人 大日本職業指導協會

広島大学図書

2000021644





宮城内御養蠶所—宮内省御貸下—

廣島大學
圖書印



明治天皇御製

國の爲いよくはげめちよろづの

民もこゝろをひとつにはして

にひばりの田づら多くも見ゆるかな

いそしむ民のちからしられて

こゝろざす方を定めて皆人の

世にたつ道にまどはざらなむ

國民のわくるちからのあらはれて

道てふみちのひらけゆくかな

なりはひをたのしむ民のよろこびは

やがてもおのがよろこびにして

目次

第一課	産業戦士	一
第二課	國民動員	五
第三課	適材適所	一一
第四課	進學の話	一五
第五課	就職の話	二三
第六課	職業の體驗	二八
第七課	女性の力	三五
第八課	能率と人格	三九

第九課	作業の安全	四三
第十課	職業と保健	四七
第十一課	餘暇の善用	五三
第十二課	職業と家庭生活	五九
第十三課	晴れの門出	六五
第十四課	八紘爲字	七一



國民學校 職業指導教科書 高等科第二學年用

第一課 産業戦士

産業戦士の使命

大東亞戦争下における産業の重要性は極めて大きい。戦争に勝つためには、それに必要な兵器、彈藥、糧食、被服をはじめいろいろの軍需品を製造し、これらを前線の部隊に送つて、その補給の完全をはからなければならぬ。銃後において軍需品の製作にたづさはつてゐる人々の仕事は前線における軍隊の働きに直接關係する。これらの人々は

その心の中にその製品を使つて奮戦してゐる兵士の姿をはつきり思ひ浮べ自分の仕事の責任が如何に重大であるかを感じながら働いてゐる。

今日の戦争はその目的が大東亞共榮圏の建設にあるのであるからわが國は戦争と同時に各種の建設事業を著々進めなければならぬ。それにはいろいろの物資が必要である。これを十分に生産し、その建設事業にさしきはりのないやうにしないでなくてはならない。これらの重要な物資は戦争前は主として米英等から輸入してゐたものであつたから、米英では日本は戦闘には勝つても物資に不足を生じ、最後には負けるであらうと思つてゐた。ところが、今日では國民の努力によつて、わが國でこれらの物資を生産す

産業戦士の
覺悟



會行壯士産業戦

ることができるやうになつた。これには産業戦士の力が大いにあづかつてゐる。今後も産業戦士はさらに工夫努力を重ねて立派な物をどしどし造りあげ、皇軍の連戦連勝と相まつて、必要物資の生産にも勝ちつづけなければならぬ。

「職場は戦場われらは戦士」の覺悟は産業戦士の心構へである。職場で働くことは金錢のためでも地位や名譽

のためでもなく、大君のため、國家のために身命を捧げ、天業を翼賛し奉る道を実践することである。この信念を堅くもち、日夜職分奉公の誠を盡すことこそ産業戦士の正しい姿である。

今日の産業戦士はその任務の重大なことをはつきりと肝に銘じて、自己の修養に一層精進するとともに、時局から防諜にも注意することを忘れてはならない。もしその勤務を怠り、金銭をむだづかひし、放縦な生活や無責任な行動をするやうなことがあれば、単に個人がつまはじきを受けるばかりではなく、生産能力を低下させ、ひいては征戦目的完遂に重大な支障を來すことになるのである。

實に産業戦士こそは銃後の華ともいふべきである。お

のおのその使命を辨へて任務を果し、その名をきずつけず、學を磨き技を練り、産業日本のためにただ黙々として働き続けよう。

第二課 國民動員

國民動員産業

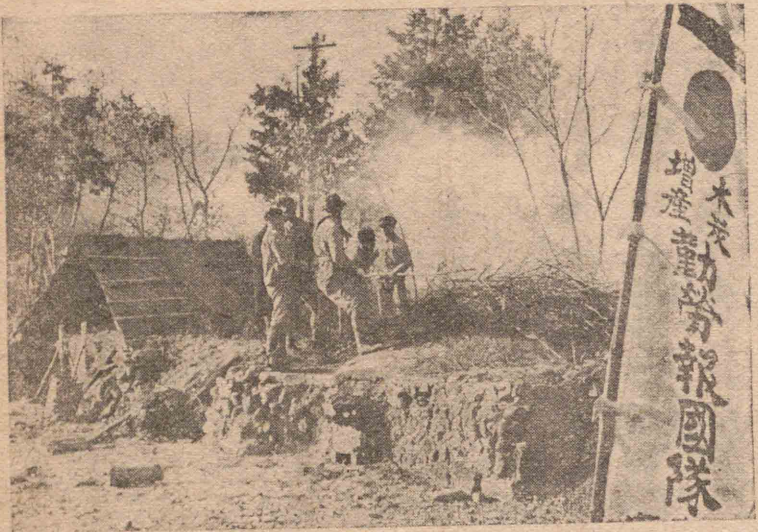
大戦争をやり遂げるためには、夥しい金と物と人が必要である。國民が税を納めたり、公債を買つたり、貯蓄をしたりするのもそのためであり、政府が金融の統制や物の生産配給の統制などを行ふのもそのためである。人についても同様に、直接戦闘にたづさはる軍隊の動員とともに銃

後の重要な産業に働く勞務者の配置について國民動員が行はれる。

政府ではこの重要な産業を毎年定めて國民動員産業といつてゐる。たとへば軍需品産業生産力擴充計畫産業生活必需品産業交通業國防土木建築業農業などがそれである。

戦闘には彈丸彈藥をはじめ銃砲戰車飛行機艦船被服食糧などが十分に整つてゐなければならぬ。この大切な軍需品を生産する産業を軍需品産業といふ。またこれらの軍需品を生産するための機械や器具やその他のいろいろな材料を造つたり金屬非金屬石炭などを掘りだしたり電氣ガスなどの動力を起したりする産業を生産力擴充計

畫産業といふ。



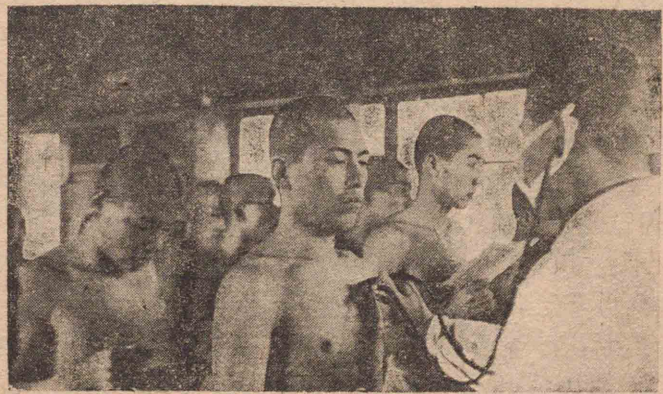
隊國報勞勤男子

次に國民の生活にどうしても必要な鹽砂糖味噌醬油などの製造に當る生活必需品産業、いろいろな材料や製品の運搬または通信連絡をはかる交通業、兵舎飛行場などを造る國防土木建築業、それから米麥をはじめいろいろの大切な食糧を作る農業が國

國民徵用

民動員産業としてあげられてゐる。毎年それらの産業に就業する勞務者や事務員などの數が定められ、これにもとづいて國民の勞務配置が行はれるやうになつてゐる。

國民動員は國家の指導と統制とによつて行はれるのであるが、國民職業指導所の紹介や募集によつて、これらの重要な産業に必要な人員を得ることができない場合には、國民徵用令により國民を徵用して配置するのである。徵用は兵役と同様に國民に課



國民徵用

國民勤勞報
國隊

せられた重い義務であり、且これに應ずることは尊い名譽である。命令があれば男子はもとより、女子もまたこれに應じて、その技能や勞力を國家に捧げなければならぬ。また戦時下の勞務の不足を補ふために、國民皆勞の趣旨



女子勤勞報國隊

から、國民勤勞報國隊を組織して勤勞奉仕ができる制度が設けられてゐる。そして簡易な軍の作業や重要な工

われらの覺悟

場の手傳ひ、または農耕などにたづさはり、在學中の學生生徒もこれに参加してゐる。

この非常時局をきりぬけて、大東亞共榮圈の建設を完うするには、國民全體が火の玉のやうになつて働くことよりほかはない。戦線も銃後もともに同じ覺悟をもつて奮闘し、この大業をなし遂げなければならぬ。われらは産業の重要度を考へ、自己の能力を考へて少しでも餘計に國家のお役に立つ産業にたづさはるべきである。また進んで國民勤勞報國隊に参加するとともに、徵用に際しては喜び勇んでこれに應じ、この名譽ある責務を立派に果すやうに心がけねばならぬ。

第三課 適材適所

個性

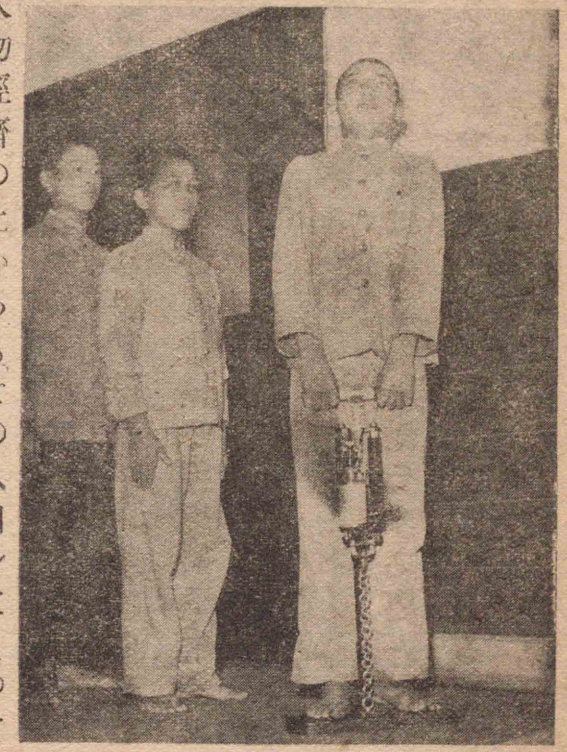
世の中に、同じ顔つきの人や同じ聲音こゝろの人がないやうに、その能力や性質にもそれぞれ必ず差異がある。同じ教室の兒童について見ても、その好き嫌ひや氣質、體力、知力などを較べても、一人として同じ者はゐない。このやうな個人の特徴がつまり個性である。

人に個性があるやうに、職業にもまたその必要とする能力や條件があり、おのおのその内容を異にしてゐる。したがつて自分の得手を伸ばし得る職業と、伸ばし得ない職業

適職と不適職

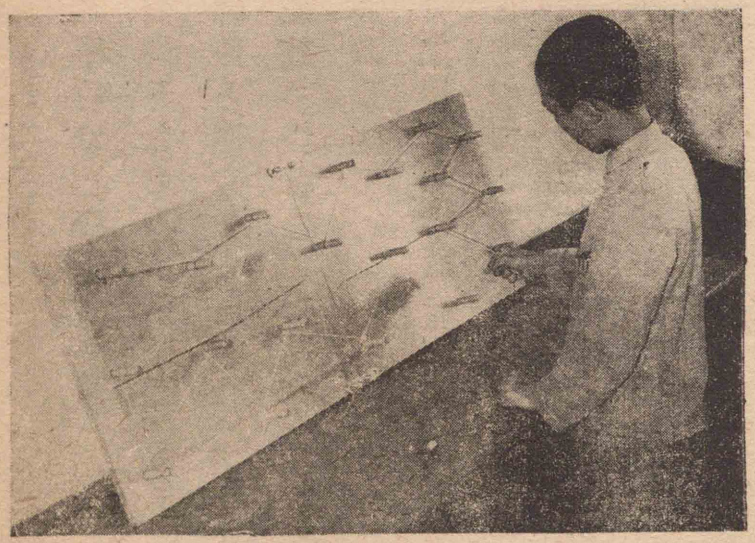
とがある。前者を適職といひ後者を不適職といふ。その職業に適する人を適材といひ、適材を適所に配置することは、一國の人物經濟の上からも、その人自身にとつても必要なことである。

しかし適職とか適材とかは必ずしも一定不變のものではない。それ故よい素質も必要だが、立派な仕事をなさう



背筋力測定

適材配置



紐かけ作業検査

と思へば刻苦辛酸を積まなければならぬ。またはじめ自分の不得手であつたことが、努力によつてかへつて得手になつた例も少くないのである。
智慧チカの働きの鋭い人
鈍い人、力のある人、ない人、眼や耳のよい人、悪い人、器用な人、不器用な人、からだの強い人、弱い人、注意深い人、不注意な人などいろいろあるが、わ

れらは自分の個性について知る必要がある。

学校では、在学中からめいめいの個性を調査して指導の資料としてゐるが、就職する者に對しては、特に國民職業指導所と協力して、知能検査や身體検査を実施し、また日常の成績や性行などを調べて適材配置の資料として活用してゐる。

工場などでは、一般に作業が幾多の工程に分れ、分業組織となつてゐるので、作業の種類は非常に多く、したがつてこれらの作業にはそれぞれ特有な能力や性質を具へてゐる人を必要とする。また職場の配置は、工場全體としての適材配置を考へてなされてゐるのであるから、たとひ自分の希望と一致しない場合でも、進んでこれに従はなければな

らない。

これは國の職業組織においても略同様で、各人がそれぞれの職域に進まうとする場合の心構へとしては、國家全體から見て、自分の適所と認められた職場に喜んで赴く覺悟こそ大切である。

第四課 進學の話

進學の目的

ある日のこと、上級學校へ入學しようといふ望をもつてゐる同級の四人が、受持の先生のもとに集つた。先生は將



進學について語る

來への希望にひとみをか
がやかせた少年たちを見
渡しながら、かうおつしや
つた。

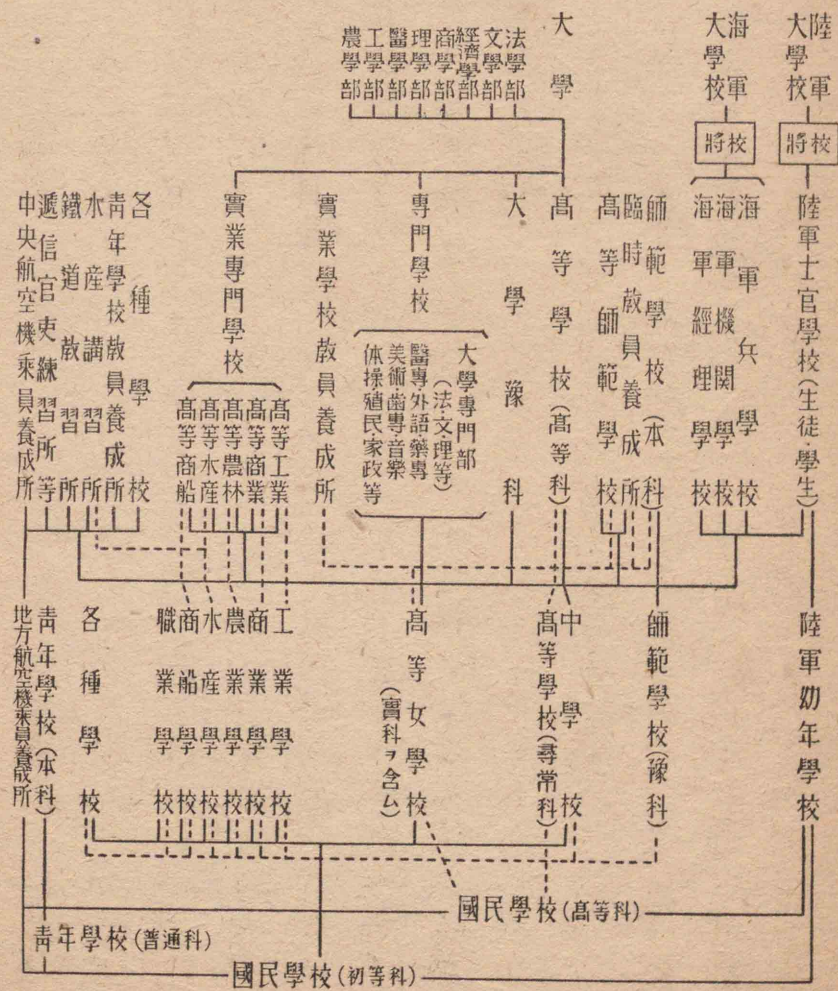
「先生がまづ言つておき
たいのは、君たちは一體何
のために上級學校に進學
するかといふことについ
て、はつきりした考をもた
なければならぬといふ
ことだ。もし君たちの中に、世間へのみえのためとか、また
は將來出世するのに得だからとか考へる者があつたら、そ

師範學校

れは非常な間違ひである。上級學校へ進むのもまた將來
いろいろな職場を通じてお國に御奉公するためであつて、
君たちの進學の目的も當然さういふものでなければなら
ない。まづこの點からめいめい自分自身を反省し給へ。」
一同ははつと感じた顔つきで思はずお互に顔を見合せ
た。先生は續いて「いいかね。ではこれから君たちのはい
りたいと望んでゐる學校について聞かう」とおつしやつた。
そこでまづ春野君が口を開いた。

春野「僕は師範學校にはいらうと思つてゐます。」
先生「さうか。さうして國民學校の先生にならうといふ
のだね。師範學校は國民學校高等科から進むことのでき
る道の中でも特に重要なものだ。高等科から入る課程を

學校系統一覽



豫科と云ひ、豫科三年を済ますと本科に進み、本科を三年やると卒業になる。」

實業學校

山川「僕は工業學校へ行きたいと考へておます。」

先生「なるほど。工業學校といふと實業學校だね。實業學校には初等科修了を入學資格とするものと高等科修了を入學資格とするものがある。工業ばかりでなく、農業、商業、水産、商船、拓殖などいろいろあるから、志望によつて種の方面に進むことができるわけだ。」

坂口「僕は寫眞學校に入つて家の業を継ぎます。」

先生「君はたしか長男だつたね。寫眞ばかりでなく、簿記、珠算、製圖、通信、裁縫、手藝などのやうなその道の知識や技能を教へる學校を職業學校といつて、同じく實業學校ではあ

陸軍幼年學校

るが、それぞれ特別な職業に對して必要な教育を授けることを目的としてゐる。

原田「僕は陸軍幼年學校にはいらうと思ひます。」

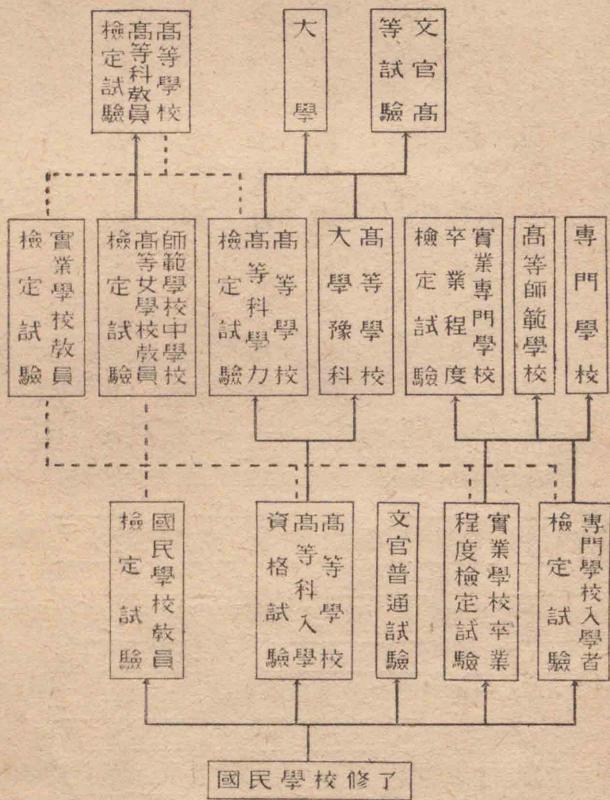
先生「ほほう。軍人志望は勇しいね。だが陸軍幼年學校では中學校第一學年第二學期修業程度で學科試験をするから、そのつもりでゐなければならぬ。この點は陸軍の少年飛行兵や少年戰車兵、それから海軍の少年兵にならうとする場合と違ふところだ。」

檢定制度

これで皆の望む方向が一通りわかつた。先生はさらにつけ加へて、勤勞のかたはら、獨學や教習で種々の檢定試験を受けて、上級學校卒業と同等の資格を得たり、職業上の資格を得る方法もあることについて話して下さつた。

青年學校

檢定による進路一覽

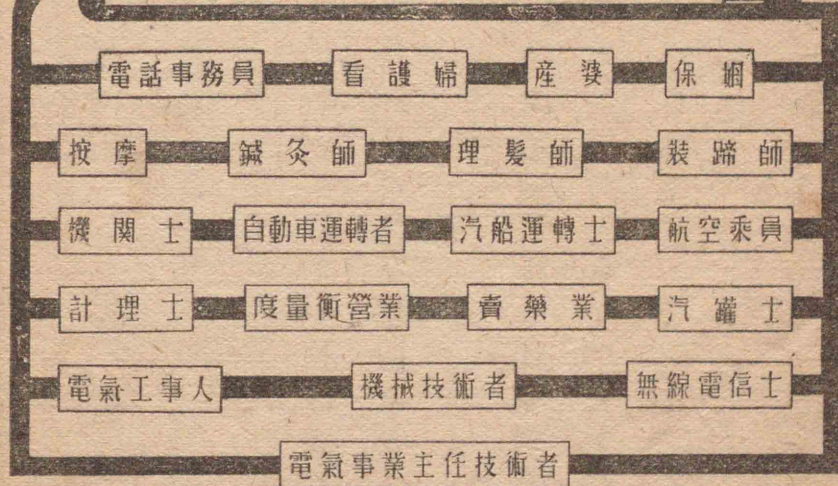


なほ、最後に先生はそのやうな特別な方法によらないでも國民學校

を修了した後知識を豊にし、人格を向上させる道のあることを教へて下さつた。それは修了後直ちに工業や農業の

實務に就きながら、青年學校に入學して勉學する道である。これも立派な修學の方法であるから、中等學校などへ行かなければ勉強はできないものとはかり考へるのは、間違つてゐるといふことを懇々とおさとしになつた。

免許・登録・検定等によつて資格を得られるもの



第五課 就職の話

勞務調整令

私は國民職業指導所長です。これから、皆さんが就職するについて知つておかなければならない主な事柄をお話致しませう。

現在は戦時でありますから、就職や退職は國の統制を受けてをります。これは銃後産業の勞働力の戦時態勢を整へるためであつて、勞務調整令といふ法令にもとづいてゐるのであります。

就職の制限

國民學校を修了する皆さんは、新しい職業人として、また

次代の日本を背負ふ中堅産業人として、國家が最も期待をかけてゐる人たちです。したがつて修了後二箇年はたとひ知合ひやその他の理由があつても勝手に就職することはできないで、國民職業指導所の紹介によらなければなりません。中途退學者も同様です。在學中に就職した者は、修了または退學の際に改めてゆるしを受けなければなり



國民職業指導所

職業相談



國民登録票の整理

は、先生のお指圖を受け、學校の職業相談を通じて、學校から國民職業指導所に申込み、知能検査や身體検査にもとづいて、

国民職業指導所が紹介するのは、大體國が定めた事業に限られるのですが、この事業は鑛業と工業とがその大部分です。商業は僅か數種の生活必需品を取扱ふ物品販賣業だけに限られてゐます。

皆さんが就職する場合

ません。

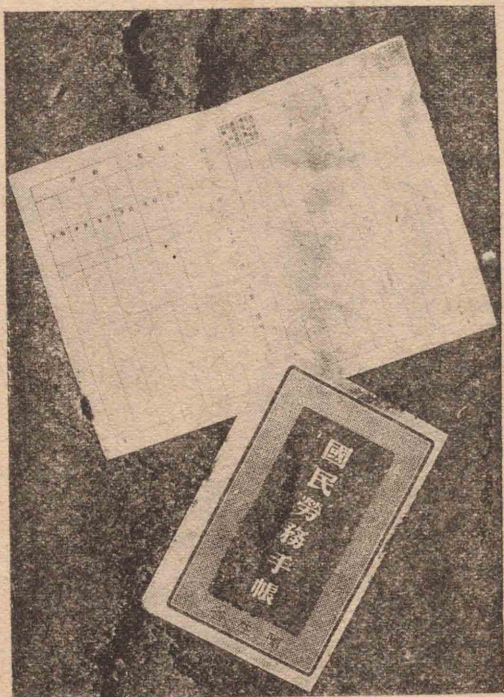
退職の制限

て、それぞれの適当な職業に就く指導を受けるのです。就職先はどこであらうと、国民職業指導所の割當以外に就職することはできないのです。

それから、國が定めた職場に勤めてゐる者は、誰でもやめる時には国民職業指導所長のゆるしを受けなければなりません。どうしても止めねばならぬ理由があれば国民職業指導所はその申し出を受けてこれを認めます。國が定めた従業者もまた同様の制限を受けます。

国民勞務手帳

その外に、鑛業・工業・土木建築業・通信運輸業・貨物取扱業及び通信事業に技能者又は勞務者として勤める男子は豫め就職地の国民職業指導所に申し出て、勞務手帳をいただき、これを雇主に差出さなければなりません。



國民勞務手帳

以上、學校を修

了して就職する場合に必要ないろいろの注意を述べましたが、これらの統制や手續は少國民の就職を國が非常に

重要なことであると考へてゐるからです。皆さん、お國のために最も働きがひある仕事に喜んで就かうではありませんか。

第六課 職業の體驗

一、弟から姉へ

姉さん

お變りありませんか。村もこれから急に忙しくなることと思ひます。

職場の組織

僕はその後ずつと元氣で、もう工場生活にすつかりなれました。先日職場の配置がきまり、僕は仕上しじやうに、吉田君と山田君は旋盤、鈴木君は鑄造の方へまはされました。その日、

工場長から僕たち少年工員の心構へについてのお話があった後、職長さんから仕事についていろいろの注意がありました。

作業の姿



工 上 仕

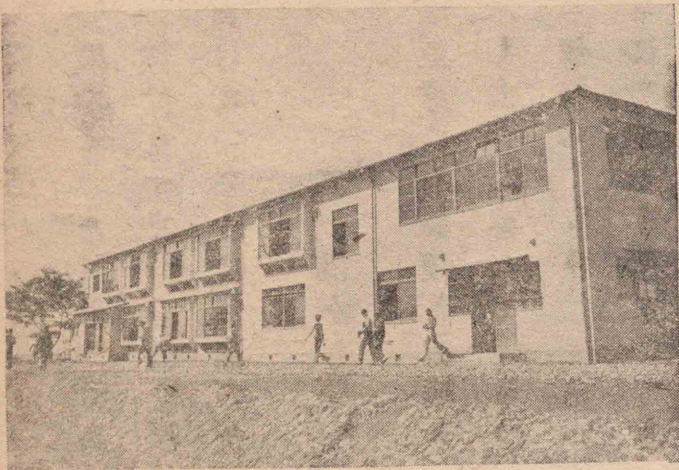
毎日、午前中は青年學校で、修身及公民國語、歴史・工業などの學科を習ひ、また教練を受け、午後は工場で作業を實習してゐます。
灰色に塗られた幾むねかの工場は、まるで戦場

のやうです。はじめは機械にさはるのもこはいやうでした。ぐるぐる廻る無数のベルト、うなりを立てて回轉する大小の齒車、鐵を打つ音飛び散る火花、地を震はす機械のひびき、この中で幾百人の工員は、職帽に汗をにじませ、一心に機械を見つめて仕事をしてゐます。「製品には工員の魂がこもつてゐる」と職長さんの言はれた言葉がうなづかれます。この一つ一つの鐵片も戰車となり、彈丸となつて戰場に送られ、お國のお役に立つのだと思ふと、身の引きしまる思がします。

僕はこれから、たとひ一本のねぢを切るにも一本の鉄をうつにも、戰地で働いてゐる兄さんの氣持で、魂の全部を仕事にうちこんで、一所懸命に働く考です。

活 寄宿舎の生

五時の終業の合圖で、一日の仕事を終り寄宿舎にかへる途中ほんのり赤みをおびた夕暮の空を見ると家に居たと



工場寄宿舎

きを思ひ出します。ポプラの並木道を十五分ばかりで、生垣にかこまれたうす青色の建物に着きます。これが僕たちの寄宿舎です。室長さんは四年生で、一室五人、皆親切な人ばかりです。舎監の先生は泊りこみでお世話して下さいます。一番楽しいのは夕食後、先生を中心に

みんなで語り合ふときです。次の休日には舍生全員潮干狩にゆくことになつてゐます。

僕はますます身體を鍛へ腕を磨いて、兄さんや姉さんに負けないやうに、お國のために働く決心です。

二、姉から弟へ

正雄さん、お便り有難う。元氣で御奉公とのこと、お父さんも大へん喜んでいらつしやいます。

垣根のくちなしも白いつぼみがふくらみだし蛙の聲も耳につくやうになつてきました。

今年は天氣つづきでもう麥の刈入れに村中忙しくなつてきました。苗代の苗もすくすく伸び、國民學校の兒童が

初夏の農村

共同作業



女生徒の勤勞奉仕

蛾の驅除のため田圃道を毎日まはつてゐます。今年から麥の刈入れや田植には、村中共同して仕事をする事になつて、五日前からはじめました。今日、私たちの組は炊事當番で、野らに働く人たちの晝食をつくりました。

さいはひのことに、町

勤勞奉仕

の女學校の生徒がきて、農耕や炊事の手傳や、小さい子供た

銃後の農村

ちのおもりなどをして下さいますので、大へんたすかります。おかげで仕事もぐんぐんはかどります。

お父さんも元気で、戦地の兄さんに負けてはすまないと毎日野らに出て働いていらつしやいます。先日、國民學校で農作物品種改良の講話があり、私も女子青年團の一人として出席いたしました。そのとき、校門のそばに正雄さんたちが修了記念に植えた木がよく根づいて、青々と伸びてゐるのを見て、心からうれしくなりました。

お父さんはいつも、銃後の御奉公は一家そろつて仕事に精を出すことだと言はれます。私たちもこの大東亞戦争を勝ちぬくために一所懸命に働きませう。

第七課 女性の力

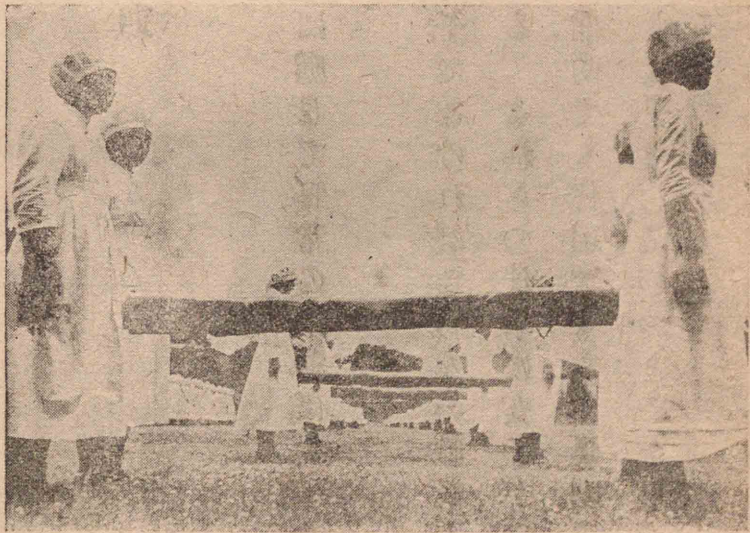
國民のつとめ

男女おのおのその特性に應じて、日常の業務に従事することは國民の本分である。

數多い職業には、ぜひ女子でなければならぬ職業や、女子にふさはしい職業がある。これらの仕事に女子が従事することは決して男子の補助でも代理でもなく、皇國民としての大切なつとめであり、女子としてのつとめを果すことである。

職業人としての女性

工場の寄宿舎や青年義勇隊の宿舎などで、寮母となり、若い人たちの母に代り、姉に代つて立働く女性の優しい心や、りが、遠く家を離れて一日の勤勞を終へた青少年にとつて、どんなに大きな慰めと勵みを與へることか。または兩親が職場に行つたあとの子供たちを預つて、わが子のやうに世話をする保姆のつと



看護婦

家庭人としての女性

めは女子ならではできないことである。これらの仕事は間接ではあるが、生産力を高める上に大きな役割を果してゐる。前線に傷兵をいたはる従軍看護婦の勤務、終日細かい連続的な作業を倦まず撓まず繰返す女子工員の働き、農村にあつて、出征した夫や兄に代り、土にまみれて食糧の増産に常にいそしむ力。これら女性の力はまことに偉大であるといはなければならぬ。

家庭にあつては、妻として職業にたづさはる夫を助け、母として子女の養育に勵み、よく家をととのへ、家庭をなごやかなうるほひのある所とするのも女性の力である。また隣組の一員として、配給や防空防火に進んで協力し、家庭を安全に保つのも女性の力にまつところが多い。

銃後女性の
任務



隣組防火群

産のために多くの人手を必要としてゐるのである。今
で働く機會のなかつた女子も、今こそその力を十分に發揮
しなければならぬ時である。たとひ家庭の主婦でも家

今わが國
は大東亞戰
争を勝ちぬ
くため、働き
盛りの男子
を多數戦線
に送り出し
てゐるので
銃後では生

政を手順よくし、むだな時間を省いて事情の許す限り、女子
職業人として働くべきである。

第八課 能率と人格

能率の増進

およそ何事でも、能率をあげるには、仕事の手順や人の配
置や設備などについてむだを省き改善をはかることが必
要である。

工場のやうに集團生活を営む所では、極めて些細な工夫
と思はれることでも、積り積れば工場全體の能率を大いに

文化と知能

あげることができるのである

文化が進み産業が発達するにつれて、材料や機械の取扱

ひ方にも、綿密な注意や観

察を要するものが多くな

り微妙な感覚や秀れた智

力を必要とするに至つた。

知能の高低は、生來の素

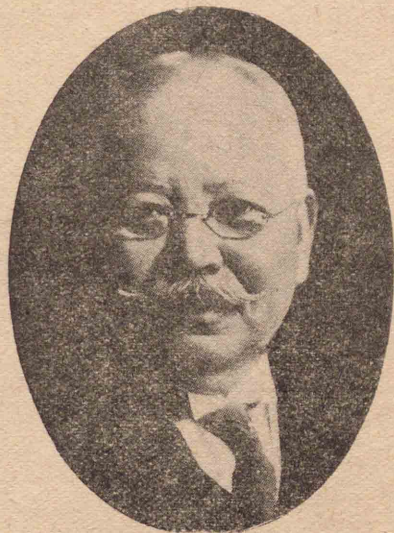
質にもよるが、またこれを

發揮するためには絶えず

その道にいそしみ、その道に工夫を凝らすことが大切であ

る。

「藝は道によりて賢し。」とはこのことをいつたもので、幾多



高峰讓吉博士

發明と工夫

の驚くべき發明や發見も、うはべは偶然らしく見えても、實はその裏に、かうした日頃の熱心と努力があるからこそ、その實を結ぶのである。現代の醫學界になくはならぬ澱粉消化劑デアスターゼや、止血藥アドレナリンは高峰讓吉博士によつて發明されたのである。タカデアスターゼの製法は博士の心身ともに苦難困窮の時代に完成されたのであり、アドレナリンは或朝、前夜おそくまで實驗に熱中して疲れ切つた擧句、一度は捨て去つた液の中から、きれいに出来た結晶物を再びとり上げて、はじめてその發明の成功を確め得たのである。善い思ひ付き、巧な考が出て、この芽生を忍耐と努力とを以て培はねば、花は咲かない、實も結ばない。まことに天地は我が師であり、萬物はわが教科

人格の修養

書であつてこれに學びこれを讀む者はわれらのまじめな勉強にほかならない。

人の個性は元來複雑なものであつて、たとひ心身能力の一部に多少の缺點ある者とても、その修養により、また他の性格や能力によつて、十分これを補ひ得るのである。中でもよい性格は技能や知識に必要である。能率増進といひ、技能錬磨といふことも、つまり性能や性格を綜合した人格全體が、その人の力として働くものであることを知らなければならぬ。さらにまた、人格の修養は單に個人の向上を意味するものではなく、國家總力戦の一戦士として生産力を高め、戦争完遂の上に重大な役割を果す基をなすことを思ひ、ますます修養につとむべきである。

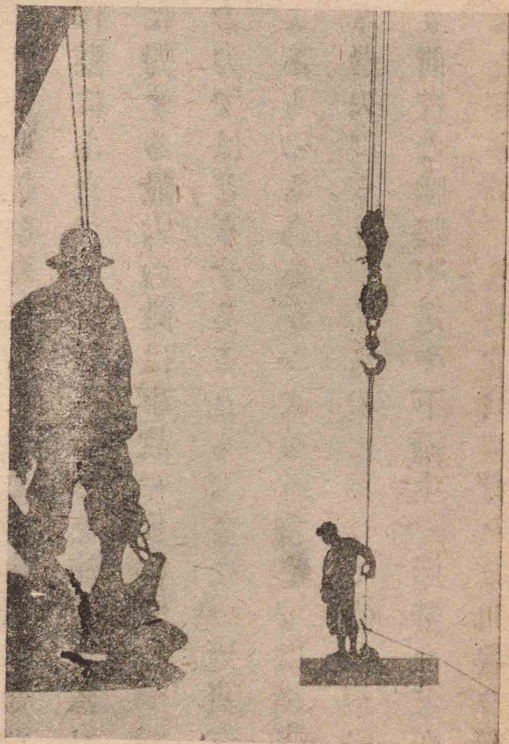
第九課 作業の安全

災害と能率

文化が進み、機械の取扱ひなどもますます複雑になつてゆく現代では、作業にあつては特に十分な注意が望ましい。能率増進に對する最大の敵は事故や災害であつて、その原因には、人の力ではどうすることもできない天災や設備の不完全によるものもあるが、およそ八割までは従事者の不注意による過失にもとづくものであつて、安全規則を守らなかつたり、前夜の睡眠不足や不攝生や過勞などがその原因となることが多い。また危険に對する知識の不足

も災害の原因となるものである。

一旦事故が起ればただ當人だけの問題ではなく、工場全體に影響して、能率の下ることは甚だしい。場合によつては、人々に不安恐怖の心を起させ、或は大切な設備を壊したり、多くの人を畜を損ふやうなことにもなる。それ故まづ危険の原因とこれを防ぐ方法とを學ぶべきである。



高所の作業

災害防止

工場法では少年や少女が危険の多い作業に就くことを禁じてゐる。また職業によつては、就業の最低年齢を定めたり、就業時間を制限したり、休憩時間を設けたり、その他安全装置や設備などについても、いろいろの規定を設けてゐる。さらに毎年、安全週間等の行事によつて全國に注意を喚起し、災害防止をはかつてゐる。

作業の心得

設備の改善は事業主が行ふことであるが、安全装置その他についての工夫や進言は、従事者も進んでこれを行ひ、協力して作業の安全をは



安全週間のポスター

かるべきである。従業に際しては、常に指揮監督者の命に従ひ、注意の諸條項に背いてはならない。ともすると慣れるにしたがつて、操作の手を省いたり、安全装置を取りはづしにしたり、機械の運轉を止めずに、手いれを試みたりする者があるが、僅かな手数を惜んで悔を一生に残すことになる。

作業の性質によつては、大なり小なり、危険は伴ふものであるが、常に冷静にして注意さへ怠らなければ、災害はさうたやすく起るものではないから、徒らに心配することなく、國家の必要とする産業に進んで従事すべきである。

職業と健康

第十課 職業と保健

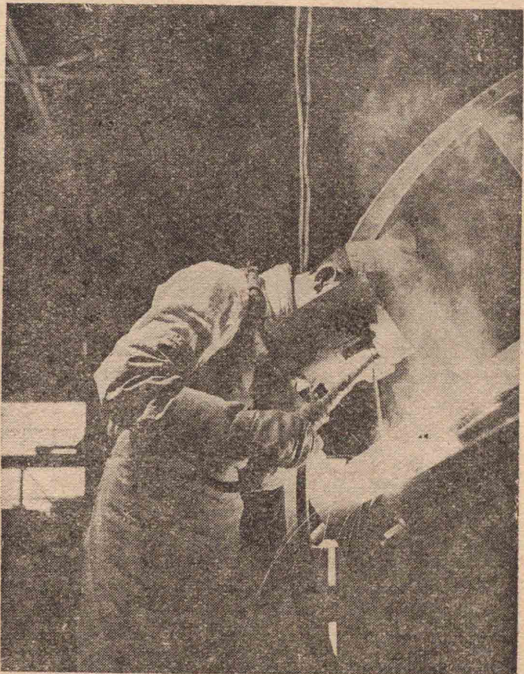
どんな高い學識や優れた技能をもつてゐても、それを十分に働かせるだけの體力がなければ、寶のもちぐされである。まして非常時にはなほさらである。われらは何よりもまづ身體の健康をはからなければならぬ。

われらは學校で、常にここに氣をつけて、強健な身體の鍊成につとめ、どんな職業にも堪へ得る體力を養つて來た。しかし職場の生活は、必ずしも健康上申し分がないとはいへない。災害豫防のほか、健康上にも幾多の注意すべき點

職業病

がある。

屋外の作業は大體健康に適するが、炎暑や酷寒には影響



をうけ易い。深

夜や雨中の作業

も同様である。

また屋内の作業

でも換気が不良

であつたり、塵埃

が多かつたりす

ると、呼吸器を害

することもある。一般に立業は疲労し易く、また人によつては扁平足になつたり、脚氣に罹り易かつたりするし、座業

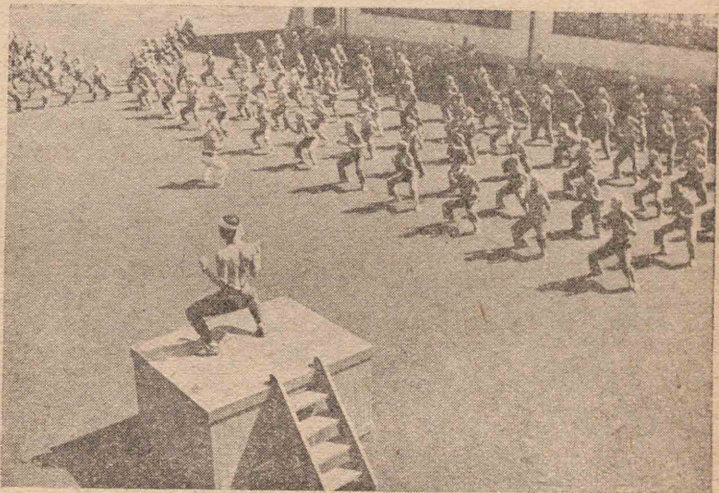
は姿勢を悪くし、運動不足に陥り易い。

このやうに、その仕事に従事してゐるために罹ることのある病氣を職業病といふが、職業病の多くは一時に發病するのではなく、長年月のうちにだんだん重くなるものである。しかし常に衛生に注意し豫防法を守りさへすれば、決して心配することはない。

休養
運動

それには第一に十分な睡眠をとるやうに心がけ、休日や休憩時にはつとめて日光に當り、よい空氣を呼吸することである。公園を散歩したり、屋外運動を行つたり、また疲労に陥らぬ程度の登山やハイキングも行つたりするがよい。第二に、全身運動を行つて疲労を早く恢復させ、また特に運動の不足勝ちや緊張に過ぎる體部に對しては、矯正體操

榮養



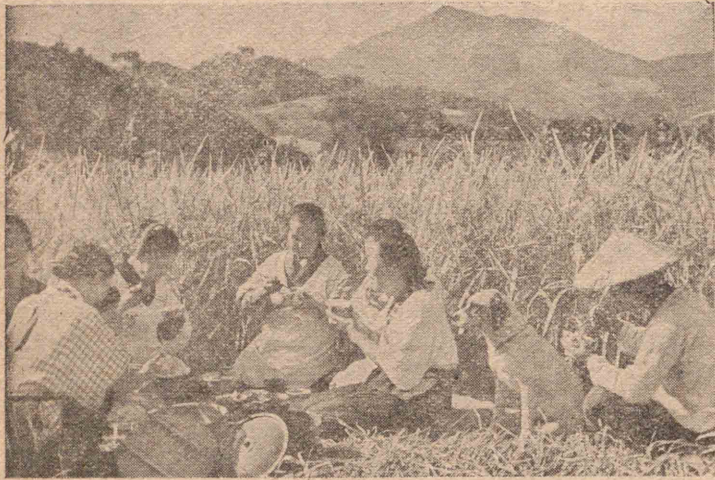
工場 の 體操

ことでも、御馳走を食べることでもない。偏食をしないで、

を毎日缺かさず實行することが必要である。はげしい労働に従事した後に、短時間軽い體操をすると、疲勞をいやす効果があるもので、適當な工場體操やラジオ體操などはこの目的のために推奨される。

第三に、榮養と攝生に注意することである。榮養といふことは、澤山食べる

衛生



野ら の 休息

よくかんで、必要な食餌をとることである。攝生とは不養生をしないことで、折角の

休日をむだな遊び事や放逸に過して、却つて疲勞を増し健康を損ふやうなことはかたく戒めなければならぬ。

第四に、清潔を心がけることである。食前や作業後には必ず手を洗ひ、作業衣も着更へなければならぬ。入浴はなるべく毎

醫
療

日行ひ、衣服も度々洗濯し、中毒の恐れある作業に従ふ場合には一層その必要がある。冷水摩擦の實行も望ましい。

第五に、無理をしないことである。若し身體に異常のある時は、早めに醫師の診断を受け、その指圖に従つて十分静養し、治療をなすべきである。病氣が重くなつてからは、なかなか恢復も遅いし、手遅れとなつてはなほる病氣も不治となる場合がある。工場には醫療、衛生並びに保健に關する種々の福利施設がある。また政府は工場従事者の保健をはかるため、健康保険制度を設けてゐるから、従事者は全部健康保険に加入して、大いに保健につとむべきである。愉快に仕事をするには、何よりも健康が必要であり、また健康であればこそ、愉快に仕事ができるのである。

第十一課 餘暇の善用

餘暇の意義

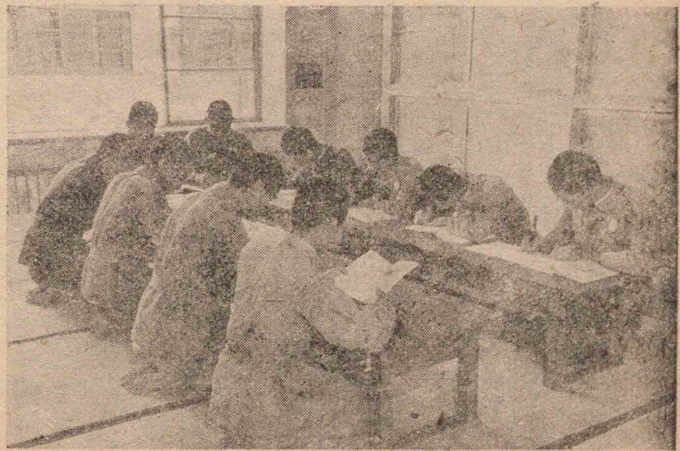
忙しい仕事の間、或は一日の仕事を終へてから、または休日などの時間は働いてゐる時と同じやうに、われらにとつては大切な時間である。餘暇は職業生活の一部分であつて、能率増進の源泉であるから、この大切な時間をただ遊べばよいと考へてよくない遊に費したりすることは嚴に慎まなければならぬ。

人は一心不亂に働いてゐる時よりも、暇の時にかへつて、その持前があらはれるものであつて、その利用如何は將來

の運命までも左右するといはれてゐる。かう考へると、餘暇の善用はわれらにとつて如何に大切なものであるかといふことがわかる。

餘暇を善用するためにはどんなことを心がけたらよいかといふと、その一つは自分が今働いてゐる仕事をよく習ひ覺えて、早く一人前の仕事ができるやうになるための工夫研究である。

仕事につい



餘暇と勉學

たとへば工場などで働いてゐる場合に、ただ上役からい

ての工夫研究

ひつけられた仕事をかたの通りにやつてゐるといふだけではなく、どうしたら少しでも仕事がよくできて立派な成績をあらはすことができるかと、暇ある毎に研究することである。それには上役や先輩について苦心や體驗を聞かせてもらふとか、仕事に關係ある講習、講演や圖書を利用するとかその志さへあればいろいろと餘暇を活用する途がある。休日などに、このやうに有意義な時を過すことをかへつて喜ばないやうな者もないではないが、そんなことでは到底將來の進歩發展は望まれない。

篤農青年といはれるやうな人たちの中には、往々にして學者やその道の専門家をも驚かすやうな發明工夫をして農事改良の上に大きな手柄を立てる者もあるがこの人た

ちは寸暇を善用して自分の仕事に工夫研究を積んだ結果、立派な發明ができたのである。



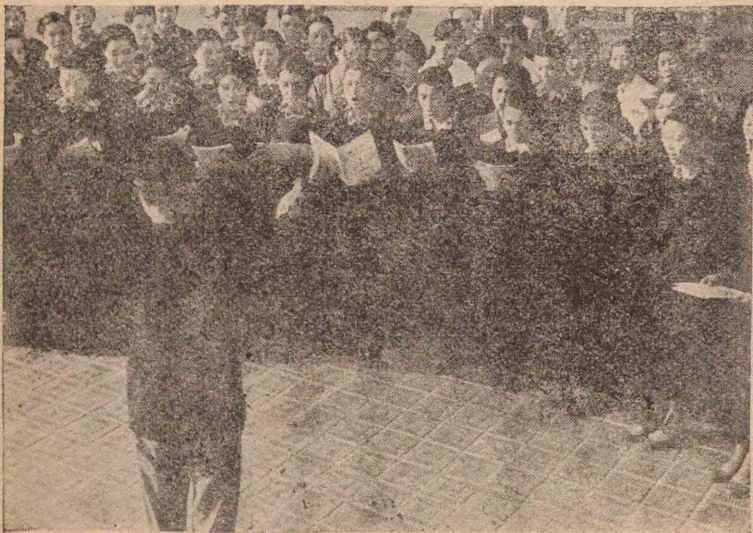
楽しい日曜日

仕事に勵むかたはら、一方青年學校で學ぶこともできるし、また技能者養成施設でわざを磨くことができる制度もあるから、そこで仕事について日頃疑問とするところを質すこともできれば、また自分の工夫研究についての指導を受けることもできる。心がけさえあれば、働きなが

餘暇と休養

らいくらでもお役に立つ立派な人になることができるのである。

しかし如何に時間が大切だからといって、人のからだは一日中休なく働いてゐられるものではない。忙しければ忙しい程休養が必要である。適度の休養によつて疲勞をいやし、氣分を新にして明日の活動にそなふべきである。



休息のひととき

趣味と娯樂

休養も又餘暇の善用の一つである。
 健全な娯樂は人の生活を豊にするものである。わけても戸外に出て新鮮な空氣を吸ひ、適度の運動をするとか、體育鍊成會や厚生運動にも進んで參加し、大いに心身を練り、志氣の昂揚につとめるとともに、時にはよい映畫や音樂演劇等をも觀賞して情操を高めることも、産業戦士の生活を豊にするものである。

その他趣味として讀書書道茶道華道繪畫寫眞魚釣などいろいろあるが、いづれも適切を期したいものである。趣味も娯樂も度を過ぎたり、方法をあやまつたりすると、かへつて心身を損ふことになるから注意すべきである。

第十二課 職業と家庭生活

職業生活と家庭生活

われらの日常生活の大半は各自の職業に關聯してゐる。人のことを問ふ場合には、先づその人の職業のことを尋ねる。職業を離れてはその人を考へることすらできにくい。それ程職業はわれらの生活に強く結びついてゐるものである。

農村や小賣商や家内工業などでは、職業と家庭生活とは區別できない位強く結びついてゐる。職場と家庭とが離

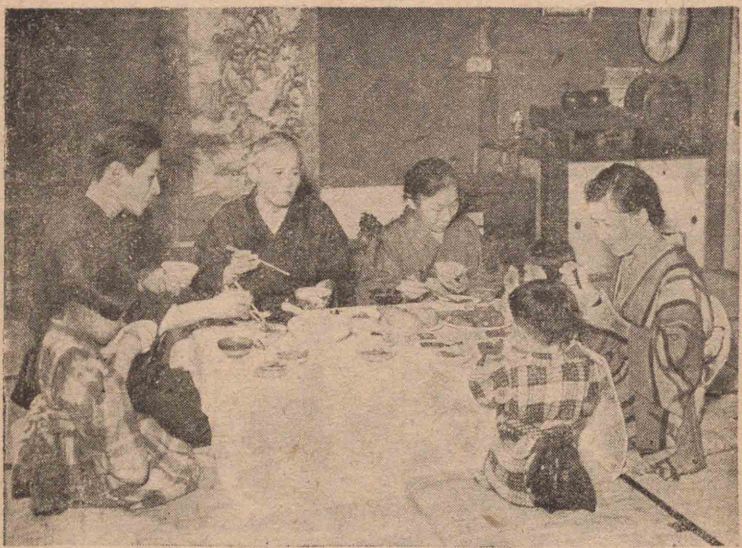
職業と家計

れてゐる通勤者などの場合には、兩者の別は割合にはつきりしてゐるがこの場合においてもなほ職業と家庭生活との間には密接な關係がある。この二つの生活の調和によつてはじめて完全な國民生活ができるのである。

大多數の國民は一日の大半を職業生活に送り、これによつて實物收入なり金銭收入なりを得て、生計を立ててゐるのである。戦時下銃後の家庭生活にあつては、物資をできるだけ節約し、死藏物を活用し、支出を最少限にとどめて貯蓄報國の實をあげ、堅實な生活を營むやうつとめるべきである。

職業人と家庭

主婦はこの理を辨へ、夫の職業をよく理解し、これに應ずるやうに家庭生活を整へ、剛には柔動には靜を以てして、家



り子女の胸に勤勞を尊ぶ精神を芽生えさせるものである。

庭を安息慰安の場所としなければならぬ。夫をして明日への英氣を十分に養はせるやうに心がけることは主婦の重要なつとめである。また家庭は産業戦士たる子女を訓育する上に最も大切な場所である。家庭にあつて勤勞にこそしむ母の姿は幼時よ

職業と家風

健全な家庭生活や楽しい家庭気分こそよい職業人の温床である。

われらの家庭にはそれぞれの美點と誇とをもちたいものである。祖先の名譽、立派な系圖・傳統などは、たとひ子孫が父祖とは異なる職業に従事する場合でも、これを大切に、常に職業を通じて國のために盡し、ますます家名をあげるやうに心がけるべきである。

家庭生活

また家庭を楽しい所とするためには、健全な娯樂を採入れ、一家全體がくつろいで打興じ、これによつて疲勞と不快とをいやすやうにすることも必要であり、また一家そろつて遠足に行くとか、親類の者や友人などと楽しく語り合ふとかいふことも大切である。

しかし家庭から離れて下宿や寄宿をする者などは無味乾燥の生活に陥りやすく、ともすれば人の心をすさませることがあるから、特に工夫をこらすとともに、よい趣味を養ひ、よい友、よい隣人を選んで生活にうるほひがあるやうにしなければならぬ。少年工の宿舎に寮母を置くのもこれを補ふためであるか



土にしたしむ

ら母代りとしての寮母の指圖を守りよくその世話を受くべきである。

また祖先をまつり、部屋に父母の寫眞を掲げることなどもよい心がけである。殊に遠く兩親のもとを離れた職場で働くやうな場合には、必ずこれを實行して、朝夕の挨拶を申し上げなければならぬ。花を飾り書畫を掛けることも、部屋におもむきをそへ心を落着かせるものであるが、座右の銘や先輩偉人などの筆蹟その他を壁に掲げて、修養に資することもまた非常によいことである。

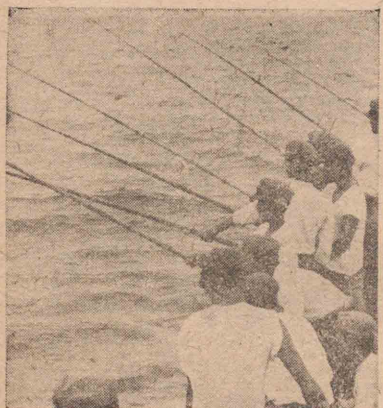
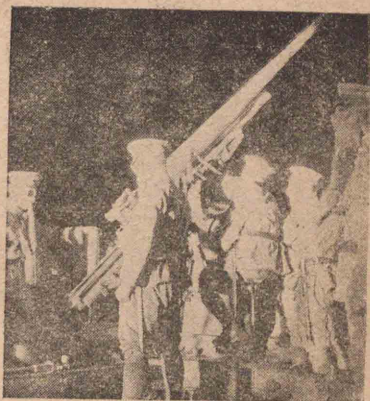
第十三課 晴れの門出

われらの前途

われらが國民學校を修了する日も間近い。學友たちは誰ともなく音楽教室から流れる修了式の歌に心をとめる。今こそわれらは八箇年の學窓から、羽ばたきも強く巣立ち行くのである。

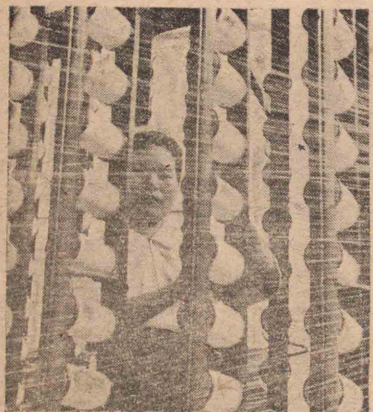
修了後産業戦士として、農業や水産業などの家業に就く者、工場や鑛山や種々の事業場につとめる者、少年兵や青年義勇隊に進む者、上級學校にはいつてさらに勉學を續ける者、いづれも父母や先生や世間の人たちに、大きな期待をか

職場のわれ



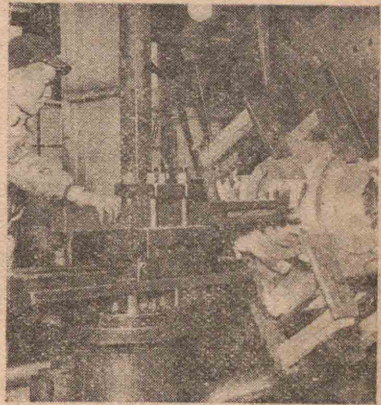
けられてゐるのである。
 われらは今まで、父母や先生の温
 い指導のもとで、愉快に安らかな年
 月を過して来た。修了後は直接國
 家のお役に立つ仕事にたづさはり
 勤勞を中心とする生活を営みなが
 ら、職業に習熟して良き職業人とな
 ることに努力しなければならぬ。
 家業に就く者は父母や家族の身近
 かにあつて職業を習ひ、遠い職場で
 働く者は郷土を離れ、朋友と別れて
 なれない土地に住み、それぞれの指

職場の修養



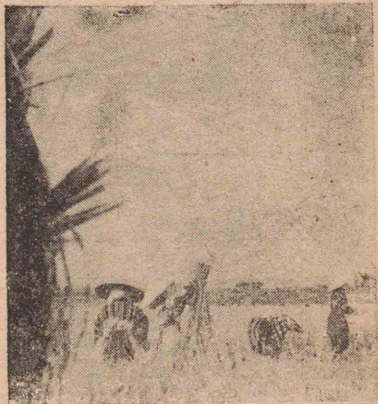
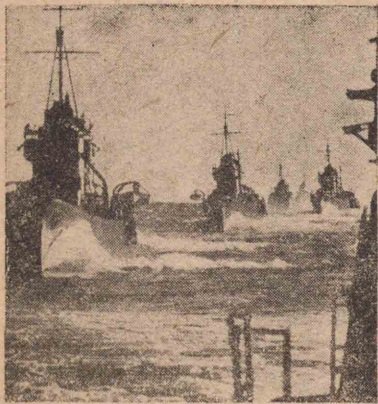
導者によつて導かれるのである。
 たとひ父母や先生や學友と離れ
 ても、心の持方一つで、やがては重要
 な役割を果す國民となれる。さび
 しいことも苦しいこともあらうが、
 われらはその場その時を戰場と心
 得て、あくまで困苦缺乏に耐へ、何事
 も乗切つて行かなければならぬ。
 われらは今出發線上にある者で、
 眞の修行はこれからである。瞬時
 もおろそかにはできない。常に心
 身を錬磨し自分の職業について研

青年學校



究工夫し、生活を省み、絶えず勉學の道を怠つてはならない。事を處するに當つては、かりそめにも輕卒にあつかはず、勇氣と忍耐とをもつて行ひ、誘惑に打勝つて邁進すべきである。若し自分だけでどうにもならない場合には、必ず父母や先生や長上に相談することが大切である。

職業に勵みつつ學ぶことのできるために國家が義務制を布いた青年學校がある。これこそ勤勞青年



にとつては、まことに恵まれた勉學修養の道場である。しかも青年學校では毎日に限らず或は一週間に二日とか三日とか、それも一日に二時間か三時間、職業生活の事情に旨く合せて訓練が行はれるのである。即ち、わが國體の本義に基づいて臣民のふむべき道の教を受け、實踐することは勿論であるが、職場で必要な知識や技術を磨き、また男子は軍事の基礎訓練により心身の鍛鍊をするのである。いはば、産業と修鍊

とを兼ね合せて廣義國防の大切な役目を果すのであるから、われらは青年學校に學ぶことと仕事に精勵することとの兩方を完うしてこそはじめて眞の御奉公ができるといふわけである。

今やわが國は世界の新秩序を建設する大使命の達成に總力をあげてゐる。この時、かがやかしいつとめを擔つて門出するわれらは一層責任の重大さを痛感する。

御民吾生けるしあり天地の

榮ゆる時にあへらく思へば

の心を心として、ただ一筋に職分を完うし、奉公の誠を盡さなければならぬ。

われらの覺悟

第十四課 八紘爲宇

肇國の大理想

大東亞共榮圈建設と世界新秩序

神武天皇が大和國橿原かきはらの地に都をお奠まつめになるとき、六合くわくわくを兼ねて以て都を開き、八紘やくわうを掩おほひて宇うと爲なむこと亦また可べからずや

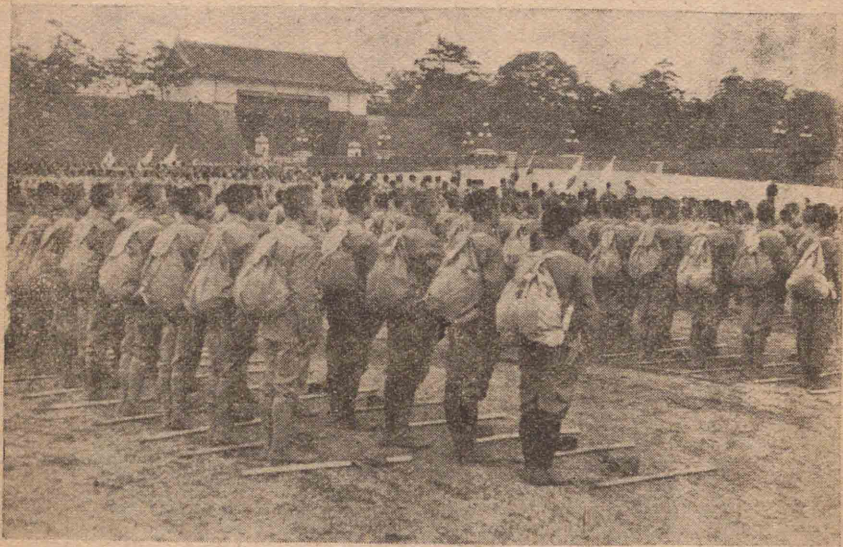
と仰せられた。この御精神こそ皇國の歴史を貫く大理想であつて今日われらが念願する大東亞共榮圈の建設は實にこの大理想の現れである。

大東亞共榮圈の建設とは、從來不當な侵略や壓迫を受けてゐた者を開放し、長年迷夢にふけつてゐた者を覺醒させ

て、大東亞諸民族共榮のために新しい大東亞を打建てることである。わが國はこの目的を達するために滿洲支那及び南方を含めた大東亞の諸國並びに諸民族を指導して道義國家の確立、共同防衛の達成、新文化の創造、共榮圈内における必要な物資の確保による經濟の提携などに、つとめてゐるのであつて、大東亞共榮圈の建設こそ世界新秩序建設への一環をなすものである。

この聖業をなし遂げるためには、わが國は國家の總力を最高度に發揮して、高度國防國家體制を整へなければならぬ。高度國防國家體制とは軍備の充實はもとより、政治・經濟・産業・文化教育等、國家のあらゆる制度あらゆる力を國防を中心として考へこれに集注させようとする組織であ

高度國防國家の建設と職分奉公



滿洲開拓青年義勇隊

る。これを國民の立場から見れば、めいめいの職業を通じて國家に最もよく御奉公すること、即ち職分奉公ができる組織である。われらは今後、國の重要な職業に就き、よい職業人となつて職分奉公の誠を致さなければならぬ。また國內のみならず、滿洲開拓青年義

勇隊に参加して北方の曠野に新天地を開拓するとともに、遠く南方の諸地域にも進出して資源の開発に、民族の協和に力を盡し、國威を發揚することもまたわれらの大なるつとめである。

われらは悠久なる國史上、比類なき國運飛躍の御代に生を享け、しかもその發展の大事業の一端を分擔し得ることは無上の光榮といはなければならない。今や國家の總力はあげて征戰目的完遂の一點に集注されてゐる時、われらは廣大無邊の聖恩に應へ奉り、天晴れ産業戰士となつて、戦力増強に挺身しなければならぬ。かくて高度國防國家を建設し、大東亞共榮圈を指導して肇國の大理想を顯現することこそ、まことにわれら皇國民の尊い使命である。

昭和十七年十二月十三日印刷
昭和十七年十二月十七日發行

高等科第二學年用
定價金貳拾五錢

本教科書挿入ノ寫眞ハ宮内省陸軍省ノ許可證及海軍省許可證第六五號

國民學校
教科書指導叢書



著作権所有

著作者

文部省内
財團大日本職業指導協會
代表者 窪田治輔

發行者

東京市麹町區大手町一丁目七番地文部省別館内
財團法人 大日本職業指導協會出版部
西垣實

印刷者

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
肥塚一郎

印刷所

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
(東京) 大日本印刷株式會社

發行所

東京市麹町區大手町一丁目七番地
文部省別館内

財團法人 大日本職業指導協會出版部

振替東京七六二九・電話丸ノ内(23)六七一〇

配給元 東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

Handwritten text, possibly a title or author's name, written vertically in Japanese characters.

広島大学図書
2000021644
